

## 1. 集計報告（対象：2019年7月～9月）

## (1) 医療事故情報収集・分析・提供事業

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2019年			合計
	7月	8月	9月	
報告義務対象医療機関による報告件数	313	360	273	946
参加登録申請医療機関による報告件数	62	61	32	155
報告義務対象医療機関数	274	274	274	—
参加登録申請医療機関数	807	807	806	—

(第59回報告書 16頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2019年7月～9月	
	件数	%
薬剤	60	6.3
輸血	2	0.2
治療・処置	260	27.5
医療機器等	23	2.4
ドレーン・チューブ	69	7.3
検査	47	5.0
療養上の世話	389	41.1
その他	96	10.1
合計	946	100.0

(第59回報告書 17頁参照)

## (2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業

- 1) 参加医療機関数 1,248（事例情報報告参加医療機関数 657施設を含む）
- 2) 報告件数（第59回報告書 20頁参照）
  - ①発生件数情報報告件数：249,176件
  - ②事例情報報告件数：6,236件

## 2. 事例の分析

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 電子カルテ・オーダーリングシステムを用いた薬剤アレルギーの情報共有に関連した事例 【24～40頁参照】
- (2) 中心静脈カテーテルのガイドワイヤーが体内に残存した事例 【41～50頁参照】
- (3) 血液検査の結果の確認不足に関連した事例 【51～59頁参照】

## 3. 再発・類似事例の分析

これまでに、「分析テーマ」や「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例の分析のテーマは下記の通りです。

- (1) 電気メスによる薬剤の引火（医療安全情報No.34、第2報No.107） 【62～70頁参照】
- (2) 誤った患者への輸血（医療安全情報No.11、第2報No.110） 【71～83頁参照】

\*詳細につきましては、本事業ホームページ（<http://www.med-safe.jp/>）をご覧ください。